

海外語学研修 (Foreign language study abroad programs)					担当教員
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	2年次 通年		3単位	自由	

【概要】

毎年8月初旬の約2週間、協定校である米国マサチューセッツ州ボストンのMCPHS大学（Massachusetts college of Pharmacy and Health Sciences）のサマープログラムを受講する。MCPHS 大学は全米の薬系大学で2番目に古い大学で、ハーバードメディカルスクールやその附属病院など、世界最先端の医療施設が密集するロングウッドメディカルエリアにキャンパスがある。平日の基本スケジュールは、午前中に語学の授業があり、午後には英語での薬学授業（日米の薬剤師業務の違い、薬化学、薬理学、生理学等）や、ボストンの世界有数の病院薬剤部見学、市内薬局見学、研究室見学、他国からの留学生・現地学生・教員とのプレゼンテーション発表会・交流会、キャンパスツアーなどを行う。講師はいずれもMCPHS大学の教員であり、実践的な英語及び米国の薬学事情を学べる貴重な機会である。所定の講義出席と評価を得ることで、受講者には修了証書が授与される。

【授業の一般目標】

留学先の教員、米国学生、他国からの留学生に対して、ミスを恐れることなく積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになること。また、午後の薬学の授業や病院・薬局見学、プレゼンテーションの機会等を通じて、米国薬剤師と日本の薬剤師の職務の違い、両国の薬剤師教育の違い、グローバルに通用する薬剤師に必要な心構え、文化の違いを理解することを目標としている。

【準備学習(予習・復習)】

ガイダンスを毎年12月、1月に行っているため、参加希望者はガイダンスに参加すること。また、参加決定者は、留学の心構え研修や、危機管理研修等の事前・事後研修（計4回）への参加と、プレゼンテーション資料の作成が必須となる。